

---

# 北海道浮魚ニュース

平成 19(2007)年度 7 号(通巻 No.240)

2007 年 7 月 9 日

北海道立水産試験場

ホームページ : [http://www.fishexp.pref.hokkaido.jp/ukiuo/uki\\_index.htm](http://www.fishexp.pref.hokkaido.jp/ukiuo/uki_index.htm)

---

## 道東太平洋マサバ・マイワシ漁期前調査結果

北辰丸(釧路水産試験場調査船)によって行われたマサバ・マイワシ漁期前調査の結果をお知らせします。

調査期間 : 2007 年 6 月 26 日 ~ 7 月 5 日

調査海域および調査点 : 道東 ~ 三陸沖太平洋(北緯 39 度 00 分 ~ 42 度 00 分、東経 143 度 40 分 ~ 146 度 45 分)における 7 調査点(図 1、表 1)

調査方法 : 10 種類の目合(22,25,29,37,48,55,63,72,82,182mm)の流し網を用いた漁獲試験

漁獲試験を行った 7 調査点の表面水温は 12.0 ~ 18.9 (前年 : 10.8 ~ 21.5 )、50m 層は 2.3 ~ 12.9 (前年 : 1.6 ~ 14.1 )、100m 層水温は 1.7 ~ 11.3 (前年 : 1.4 ~ 10.2 )でした(表 1)。

漁獲試験の結果は表 1 のとおりで、流し網調査 1 回当たりの漁獲尾数(CPUE)の経年変化は図 2 のとおりです。

漁獲試験で採集された漁獲物は以下のとおりです。

**サバ類(マサバ、ゴマサバ)**は、3 調査点で 5 ~ 172 尾、合計 232 尾漁獲されました。CPUE は 33.1 尾/回で前年の 122.8 尾/回を下回ったものの、1994 年以降では 4 番目に高い値を示しました。しかし、資源水準は依然低い状態にあるものと思われます。魚体は尾叉長 10 ~ 13cm 台と 30 ~ 38 cm 台で、34 cm 台が主体でした。

**マイワシ**は、1 調査点で 4 尾漁獲されました。CPUE は 0.6 尾/回で前年の 0.1 尾/回を上回りましたが、資源水準は非常に低い状態です。魚体は体長 15.0 ~ 16.5 cm 台でした。

**カタクチイワシ**は、6 調査点(全地点)で 1 ~ 11,358 尾、合計 11,681 尾漁獲されました。CPUE は 1,668.7 尾/回で、前年の 897.9 尾/回を上回り、1994 年以降では 5 番目に高い値でした。魚体は体長 9.5 ~ 14.5cm 台で、13.0 cm 台が主体でした。

**サンマ**は、6 調査点で 3 ~ 1,707 尾、合計 2,152 尾漁獲されました。CPUE は 307.4 尾/回で、前年の 170.0 尾/回を上回り、1994 年以降では最も高い値でした。

**スルメイカ**は、4 調査点で 1 ~ 42 尾、合計 82 尾漁獲されました。CPUE は 11.7 尾/回で、前年の 1.6 尾/回を上回り、1994 年以降では 5 番目に高い値でした。

**アカイカ**は、2 調査点で 1 ~ 93 尾、合計 94 尾漁獲されました。CPUE は 13.4 尾/回で、前年の 48.8 尾/回を下回ったものの、1994 年以降では 5 番目に高い値でした。

来る 7 月 23 ~ 25 日に、中央水産研究所資源評価部(横浜市)で長期漁海況予報会議が開催され、今回の調査結果を含めた各機関の資料を基に、漁況予報が発表される予定です。

(文責 : 釧路水試 資源管理部、直通電話 : 0154-23-6222、FAX : 0154-23-6225)

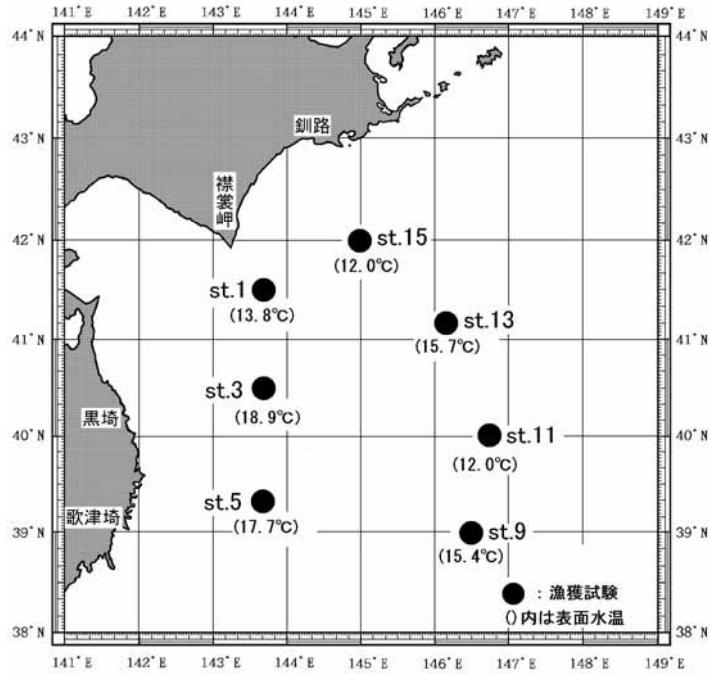


図1 漁獲試験調査点

表1 水温および魚種別採集尾数

st.	1	3	5	9	11	13	15	合計
表面水温( )	13.8	18.9	17.7	15.4	12.0	15.7	12.0	
50m水温( )	7.4	8.6	12.9	5.5	2.6	9.1	2.3	
100m水温( )	3.3	6.5	11.3	4.0	1.7	7.7	2.0	
サバ類		172	55	5				232
マイワシ	4							4
カタクチイワシ	11,358	8		34	48	1	232	11,681
サンマ	3	56	74	57	255	1,707		2,152
スルメイカ	29	1		42	10			82
アカイカ			93		1			94

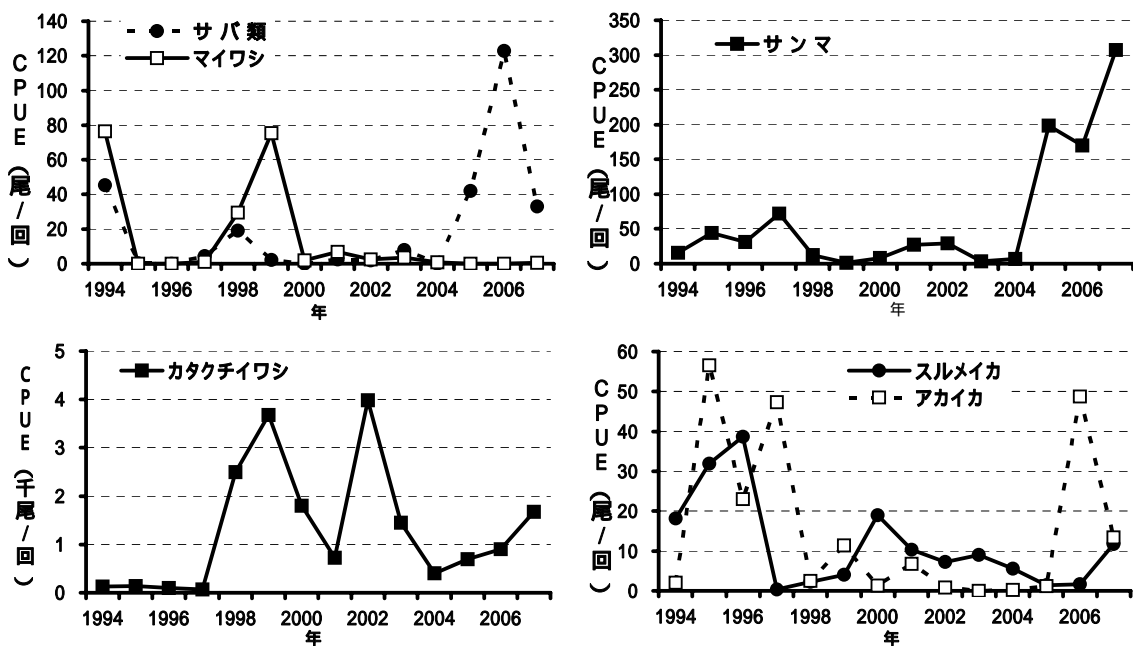


図2 流し網調査1回当たり漁獲尾数(CPUE)の経年変化